



あいさつが飛び交う学校、まちに・・・

朝、子ども達を校舎階段下で迎えていると多くの子が「おはようございます！」とあいさつをしてくれます。私にとって、子ども達との最初のコミュニケーションがこの一言で始まります。

多くの子が気持ちのいいあいさつをしてくれる一方で、こちらから「おはようございます！」と言っているのですが、友だちとのおしゃべりに夢中になって通り過ぎる子、声が小さすぎてこちらまであいさつが聞こえてこない子も少なからずいます。

昨日、全校児童が集まる月曜集会の場で『あいさつ』について話をする機会がありました。その時に子ども達に伝えたことは、下枠の中のあいさつのポイント4つ。

あいさつの「あ」・・・相手を見て 明るく
あいさつの「い」・・・いつでも
あいさつの「さ」・・・先に
あいさつの「つ」・・・つづける

また、朝や帰りのあいさつはもちろんのこと、校舎内でも廊下などですれ違った先生やお客さんとあいさつできるようにしていこうと伝えました。

これから先、社会に出て生活していく上で、「自分から人に関わること」「礼儀正しく人と接すること」等を大切にしていくことは言うまでもありません。きちんとあいさつができることは人との

つながりを築いていく上で、欠かすことはできないでしょう。

『あいさつが飛び交う学校、まち』を！これから先、大人になっても『あいさつ』を継続していける子ども達を、地域、保護者の皆さんと共に育てていきたいと思ひます。



あったか6年生見つけた!!

1年生入学の翌日から、当番にあたっている6年生が靴箱で外履きから上履きに履き替える1年生のサポートをする様子が見られます。そして教室までエスコートし、ランドセルの中の学習用具を取り出すお手伝



いをしている光景も見ることができます。優しく1年生に言葉をかけているお兄さん、お姉さんの姿は、大塚台小学校の最高学年としての誇りさえ感じられます。

車登校でなくっちゃダメですか!?

朝や雨天時の通学において、保護者の方による自家用車での送迎が見られます。お子さんの安全や体調を気遣うお気持ちは十分理解しますが、校舎階段前付近での乗降や路上での停車は、通行の妨げとなる場面もあり、かえって子ども達の安全を損なう恐れがあります。

停車車両があるため、対向車とのすれ違いを妨げられた車両があったことも目にしています。前年度には地域住民から本校に苦情が寄せられ、対応に困惑したケースもあったと聞いています。4月10日付PTA 校外委員会から発出されています「校外だより」にも、登下校の方法のお願いが記載されています。

ご承知の通り、本校では子どもが自らの足で安全に登下校することを基本としています。子どもはできるだけ歩かせてください。歩くことで多くのことを学びます。体力づくりにもなります。また、徒歩通学は、交通ルールの習得や地域との関わりを深める大切な機会であると認識しています。熱中症や交通事故に遭うことはもちろん心配ですが、危険を回避する力をつけることも必要だと考えます。それでも心配なら車ではなく一緒に歩いて送迎してください。ご家庭におかれましては、今一度通学の在り方についてご理解とご協力をお願いいたします。



遠くからの学区外通学やけが等、やむを得ず特別の事情があり送迎が必要な場合はその限りではありません。その際は学校周辺での駐停車をできるだけ避け、交通ルールやマナーを守った安全な対応をお願いいたします。子ども達の安心・安全な通学環境を守るため、引き続きご協力をお願いいたします。